

1989 ◆今月の一笑 Q: ジョークの会は毎月何日に開催ですか?

11月 A: 毎月第4金曜日です。ジョーク預金(四金)と覚えて下さい。なお、出入れ自由です。資金(四金)も豊富。

~~~~~  
◆いよいよ伝笑鳩4号が飛びます。動物には帰巢性があり、巣に集まらねば落ち着きませんが、ジョーク鳥は特にその本能が強いようで、毎月金曜(四金)夜6時半になると、連絡がなくても自然に巣に集まってくるようになりました。ところで、日経(8月8日)に出ました小生(南茶亭気楽)の「感詩」を、ニューヨーク在住のスー氏が「本格漢詩」にして送って下さいましたが、更にメンバーの杉本(好きもっと)氏の労により、拓大教授の黄清溪先生が文字通り「楽詩」(楽し)に仕上げして下さいました。笑介しましょう。——気楽鳥

《南茶亭気楽》

同労友今日煩多 同労の友よ今日の煩い多し  
巢造共憩野鳥如 巢作り共に憩わん野鳥の如く  
会交遊笑明日楽 会いて交わり遊び笑えば明日も楽しからん

《黄清溪先生》

同労之友今多煩 同労の友よ今煩い多し  
巢成同憩如野鳥 巢つくり同じく憩わん野鳥の如く  
会友交遊日日楽 友に会いて交わり遊べば日々楽しからん

同巢会精神をいみじくもうたって下さいました。感謝して味わいましょう同労の友よ。

◆駄洒落塾に出席しての間想(仕事が忙がしいので合間に想う)——佐藤洋子

「3分間の話しにも7日の準備期間をとる。一つのスピーチをするにも百倍の材料を集めてその中から話材を選ぶ。三段論法、結論先出し話法、ショッキングリード話法等の型を覚える。e t c .」私が話し方教室で教えていた頃の内容です。型にはめてしまえば良いスピーチになります。でも構えている。堅苦しい。面白くしようとする作為がのぞいてしまうことがある。何か足りないと感じていました。そうです。にじみ出るユーモアとか、ジョークが欠けていたのです。そんな折ジョークの会を知り、さっそく入会させていただきました。

会では皆さんポンポンとジョークが口をついで出てくるのにはただただ感心してしまいました。それに皆さん個性的で本業以外にプラス・アルファを持っていらっしゃる。まさに私にとってカルチャーショックでした。ご自分の名笑を南茶亭気楽などつけてしまう面白くて素敵な方々と月一度ご一緒できるのがとても楽しみです。塾女の十幸幸代と同世代の私、さしあたり目指亭塾女(めざすていじゅくじょ)とでもしょう?。

~~~~~

◆今月のジョーク紹介

◆9月21日のサロン主席者名を入れた「ジョークつづり方教室」を笑介します。

南家芝楽・作

山下の野本流れる石川の河内のさとの福寿草

千葉や芝生も青々と井の上つるべ朝顔に

とられて千代女は もらいみず.....→韻をあわせて  
いる。

同巢会の会場はジョークと笑いのすごいうず.....

◆前号でご紹介できなかった小門留美子さんの作品をご笑介します。

まあ純ナ・作

どんな便りかと

うき うき

そわ そわ 封を切りました

うん うん なる程

かんがえてるなあ

いいぞ いいぞ！ と読みました

◆同巢会に参加して——井上葉智

8月に初参加した私は、ナゼカ名前を佐藤葉智と間違われてしまった。私の名は、イノウエ・ヨウチですが、「砂糖ハチ」もまたいいものだなあ～！甘さがあって、チョッピリ刺されていたそうだ…。名前なんて一つの符丁であって拘らないのがいい。

3回出席させていただいて「ハチさん、葉智さん」と呼ばれていい気分になっている。全くいい加減な私デス。

さて、会の雰囲気は色とりどりだがサンシタ（山下）コウゾウ（広蔵）さんを中心に、チョッと真面目な野本氏、美人で明るい河内女史がいるので無類に楽しい。

人の集まるどころ駄洒落がこんなに楽しいなんて…！駄ジャレを軽視していた？葉

智でしたが、蘊蓄を聞かされて、峰も蜘蛛の糸に引っ掛かってしまったようだ。

厳しいビジネスの世界を、駄洒落で40年過ごしたコウゾウさんは、暖かい人柄と相まって会社に多大の貢献をし、儲けさせたのではないかしらね。「儲ける」とは、ダテに人は儲けさせてくれません。その人に信用が出来て始めて附いてくるものだから。

エゴで駄洒落は生まれません。溢れんばかりの思い遣りがあっても出てくるものでもありません。

私も精々、月に一度のこのジョークの会に出させていただき、衰えた脳をリフレッシュしたいと思います。

《伝笑鳩》子よりお願い。

●みなさん、お便よりくださいね。